

平成 20 年 6 月 26 日  
 県 境 再 生 対 策 室

## 平成 20 年度以降の撤去計画について

### 1 廃棄物の単位体積重量の見直し

事業実施計画書（平成 16 年 1 月環境大臣同意）では、これまでの調査などを踏まえて廃棄物の単位体積重量を 1.0 トン/㎡と推定していました。

平成 16 年度から 18 年度までは主に一時仮置き場及び中間処理場の堆肥様物を撤去しました。平成 19 年度は主に鉛直遮水壁工事に伴い掘削した廃棄物を撤去したことから、廃棄物全体を想定できるものと考えられるため、この撤去実績を踏まえて単位体積重量を 1.5 トン/㎡に見直しました。

### 2 平成 19 年度までの撤去実績及び平成 20 年度以降の残量

	H16 年度 実績	H17 年度 実績	H18 年度 実績	H19 年度 実績	H20 年度 以降残量③	備考
廃棄物体積 (千㎡)	12.0	29.6	29.5	34.1	565.8	③=671千㎡ -実績
廃棄物重量 (千t)	11.4	39.9	45.9	51.4	850.0	③≒③体積×1.5

### 3 平成 20 年度以降の年度別撤去計画量

(単位：千 t)

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	合計
年度別撤去 計画量	163	194	194	194	105	850

### 4 処理施設の確保状況

#### (1) 現在の契約施設

##### ①焼却施設

- ・ 八戸セメント(株) : 計画処理量 100t/日 (搬出 15台/日)
- ・ 奥羽クリーンテクノロジー(株) : 計画処理量 130t/日 (搬出 15台/日)
- ・ (株)庄司興業所 : 計画処理量 3t/週 (搬出 1台/週)

##### ②埋立施設

- ・ (株)ウィズウェイストジャパン : 計画処理量 350t/日 (搬出 34台/日)

#### (2) 今後の見込み

現在、契約施設において、処理量の増量を検討している施設があることや、上記の他にも県境産廃の受入れ意思を有する焼却施設や埋立施設があることから、平成 24 年度までの撤去完了は可能です。